

高日射反射率塗料

クールトップ®

防水層専用 高耐候性高日射反射率塗料

クールトップ® #300Si

屋上防水層保護仕上材に遮熱機能をプラスしました。

防水層専用 高耐候性高日射反射率塗料

「クールトップ#300Si」は、抜群の遮熱効果と高耐候性を有し、室内環境の向上及び冷房効率の改善に貢献する防水層専用の高日射反射率塗料です。

特 長

1 防水層専用 高耐候・遮熱機能

- ・骨材を含まない非歩行タイプです。
- ・高耐候性の反応硬化形アクリルシリコン樹脂を使用することにより耐久性に優れた強靱な塗膜が形成され、長期にわたり防水層を保護します。
- ・近赤外線反射性能に優れた顔料とセラミックバルーンの相乗効果により塗装表面の温度上昇を抑制します。

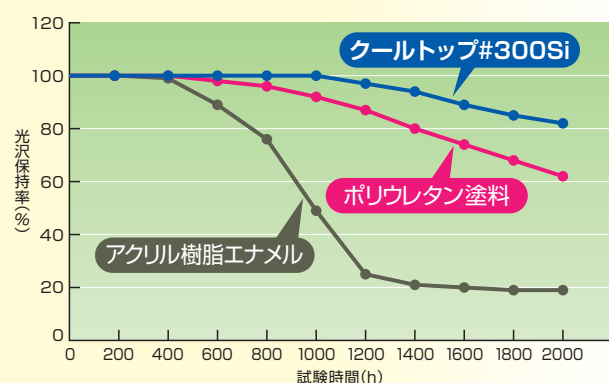
2 抜群の環境配慮

- ・塗膜からの溶出成分を大幅に低減しており大規模工事でも安心して使用できます。
- ・環境ホルモン、ホルムアルデヒドを含まない安全な塗料です。

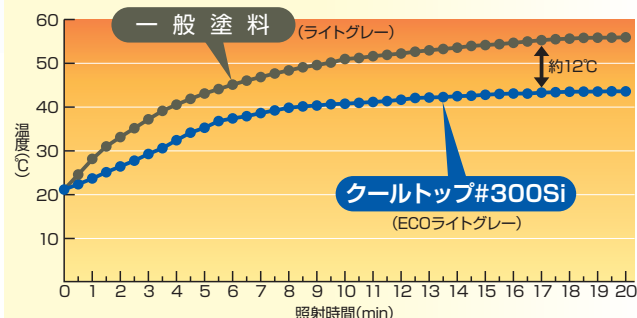
3 各種防水材への優れた適応性

- ・ゴムシート、砂付アスファルトへの直接塗装が可能です。アスファルトに対する耐ブリード性に優れ、黄変を抑制します。
- ・その他の防水材についてもプライマーを使用することにより塗装が可能です。

● 促進耐候性試験結果 (キセノンランプ法)

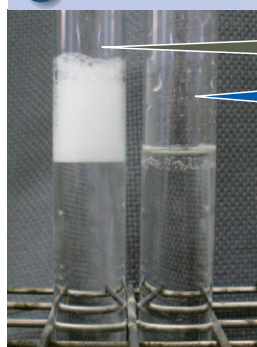


● 遮熱性能



クールトップ#300Siは近赤外線領域で高い反射率を示すため、遮熱効果が優れています。このため、室内の温度上昇抑制効果の他、防水層の膨れ、熱劣化を抑制します。

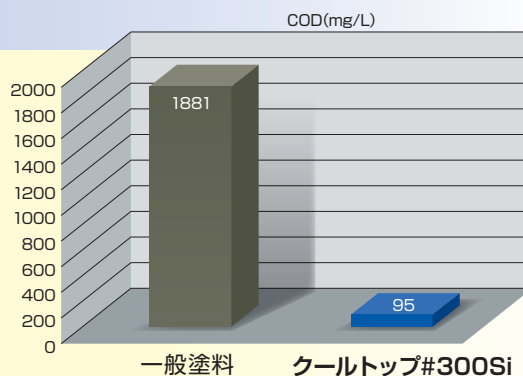
● COD溶出量比較試験結果



左：一般塗料

右：クールトップ#300Si

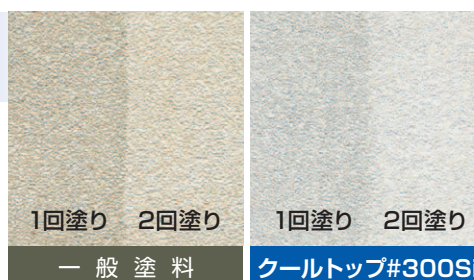
CODが多いと泡立ちが多くなります。クールトップ#300Siは泡立ちが少なく、COD溶出量が少ないことがわかります。



※COD (Chemical Oxygen Demand) とは、化学的酸素要求量のこと。海水や湖沼水質の有機物による汚濁状況を測る代表的な指標で水質汚濁防止法(1970)に基づき排出水の規制のための基準値が定められています。(水中の有機物等が酸化剤で酸化される時の酸素消費量で、その値が高いほどその水が汚れていることを示します。)

● アスファルトに対する耐ブリード性

(素地：砂付アスファルト)



● 塗膜性能

		クールトップ#300Si	試験方法
光沢		80.5	鏡面光沢度(60度)
付着性	ゴムシート	0	JIS K5600-5-6 クロスカット法2mm角 (0:カットの縁が完全に滑らかで、 どの格子の目にもはがれがない)
	アスファルトシート	0	
	ウレタン防水材※	0	
	ポリマーセメント系防水材※	0	
アスファルトシート上のブリード		異常なし	23℃7日間養生後60℃加温7日間
耐水性		異常なし	JIS K5600-6-2 水道水浸漬7日間
耐アルカリ性		異常なし	JIS K5600-6-2 Ca(OH) ₂ 飽和水溶液浸漬7日間
耐湿潤冷熱繰返し性		異常なし	JIS K5600-7-4 10サイクル
促進耐候性(光沢保持率)		81%	キセノンランプ法 1500時間照射

※下塗りとしてアスファルトシーラーを使用。

● 塗装仕様

1. ゴムシート・アスファルトシート

工 程	塗 料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	ごみ、埃、油分等の付着物を水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。					
上塗り	クールトップ#300Si	100	0.1~0.2	2	(工程内) 2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り

・砂付アスファルトシートの場合、砂の形状により塗付量が多くなることがあります。

2. ポリマーセメント系防水材・ウレタン防水材

工 程	塗 料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	ごみ、埃、油分等の付着物を水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。					
下塗り	アスファルトシーラー	100	0.1~0.2	1~2	ポリマーセメント系防水材 2時間以上 ウレタン防水・塩ビシート 3日以内 24時間以上 3日以内	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り
上塗り	クールトップ#300Si	100	0.1~0.2	2	(工程内) 2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り

・ポリマーセメント系防水材の下塗りには、水性ボウスイプライマーECOまたはスズカルマシーラーも使用できます。
 ・ウレタン防水材に施工する場合は、事前にテスト塗装を行ってください。(アスファルトシーラー塗装後、表面粘着が無いことを確認してください。粘着がある場合、上塗りにも粘着、変色などの不具合を生じますので塗装を避けてください。)

● 用 途

各種屋上防水材用トップコート

● 容 量

クールトップ#300Si : 16kg
 アスファルトシーラー : 16kg

● 色 相

注) 印刷見本ですので、現物とは若干の色差があります。



ホワイト



ECOアイボリー



ECOライトグリーン



ECOグリーン

塗装上の注意事項

- 素地(防水層)の破断・ふくれ・剥離・減耗など劣化の著しい場合には、防水層自体の改修を行ってください。
- 知見のない防水材に塗装するときは必ず塗装前に予備テストを行い、異常のないことを確かめてからご使用ください。
- タールウレタン防水材の場合、アスファルトシーラーでも、ブリードを生じることがありますので、塗装を避けてください。
- カラーゴムシートへの塗装は避けてください。
- ノンタールウレタン防水材に使用する場合は、必ずアスファルトシーラーをプライマーとして使用してください。
- 塗装する前に被塗面の埃、油分などを十分に取り除いてください。
- 素地(防水層)は、十分に乾燥させてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 強風時、降雨・降雪・結露が予想される時は、塗装を避けてください。
- 塗料は均一にかくはんしてからご使用ください。また泡をまき込まないようにご注意ください。
- 仕様の各数値は、標準的な数値です。素地の形状や状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
- 各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- 塗膜乾燥過程の初期段階に降雨があった場合、塗膜から界面活性剤が溶出し、雨水が集中する箇所での泡の発生する可能性があります。雨水が河川に流入する恐れがある場合、地域の排水基準に則した管理を行ってください。
- 低温または高湿度などの気象条件下では、塗膜の乾燥が遅れるため、降雨の影響を受けない施工計画を立ててください。
- 塗膜上に鳥の糞、砂、土、花粉、木の葉、金属(くぎ)などを放置すると、塗膜に変色、剥離などの悪影響を及ぼします。その都度清掃してください。
- 常時、高温・高湿度になる箇所や、酸性・アルカリ性物質が当たる箇所は劣化が早くなる可能性があります。
- 屋上の雨水がドレンに流れず直接外壁に流れる構造の場合には、劣化した塗膜粉が外壁を汚染する可能性があるため、塗装は避けてください。
- アスファルトシーラーは、かくはんし、そのまま塗装してください。塗装後十分に乾燥させ、仕上塗料を塗装してください。尚、塗装具の洗浄には、スズカシンナー#2000をご使用ください。

取扱い上の注意事項

- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
- 容器から取り出すときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
特に下記場所の保管は避けてください。
・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所(5℃以下)など
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。

アスファルトシーラーを用いる場合は、上記の取扱い上の注意事項と、下記事項を合わせて、注意してください。

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気を良くし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
- 取扱い作業所には、局所排気装置を設けてください。
- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・有毒ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
- 臭いは食料品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざける、または養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から取り出すときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器、粉末消火器を用い初期消火をしてください。

○このカタログに記載以外の素地や仕様で塗装される場合は塗膜欠陥をおこすことがありますので
使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。



スズカファイン株式会社

営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX 059-397-6191
☎059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店



URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

□本カタログの内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

18/06